

市と芥明高校がオリーブの共同研究に関する協定を締結

オリーブの6次産業化の実現に向けて

市と芥明高校は3月23日、オリーブの共同研究に関する協定を締結しました。この協定は、オリーブの栽培・加工・販売を一貫して行う“6次産業化”の実現を旨として、栽培方法や加工品の開発などについて共同研究を行うもの。同校で実施した調印式では、安田市長と松尾哲也校長が協定書に調印。安田市長は「オリーブの島づくりに向けて、この共同研究の成果を期待している」と話し、松尾校長は「学校が一丸となって協力していきたい」と述べられました。



▲協定書を手にする安田市長と松尾校長

健康づくりハイキング

栖本

なかよく楽しく健康づくり

3月13日、市社会福祉協議会・栖本支所主催による、「健康づくりハイキング」が行われました。これは同支所が、高齢者の健康づくりと親睦を深めることを目的に毎年開催しているもので、栖本町内に住む高齢者など105人が参加しました。コースは、栖本福祉会館と栖本城跡を往復する約4.6km。この日は、ぽかぽかとした陽気が心地良い絶好のひよりで、参加者は笑顔で語らいながら、マイペースでハイキングを楽しんでいました。



▲笑顔でハイキングを楽しむ参加者



▲完成を祝して記念のテープカット

市本渡水産物荷さばき施設落成式

漁業者の経営力向上を目指して

4月6日、「天草市本渡水産物荷さばき施設落成式」が本渡港にある同施設で開かれ、関係者など50人が参加しました。これは、昭和39年に整備された本渡卸売市場の老朽化に伴い、消費者の安心・安全なニーズへの対応と、漁業者の経営力の向上を目的に市が建設。施設の管理は指定管理者制度により、天草漁協が行います。式典では、安田市長が「天草の水産物の起爆剤となってほしい」とあいさつ。その後、落成を記念してテープカットを行いました。



▲幼虫を探す子どもたち

カブトムシの養殖事業

新和

大きく育て“カブトムシ”!!

いかりいし
礎石地区振興会では、子どもたちに自然体験の場を提供することを目的に、旧中石小学校でカブトムシの養殖事業を始めました。3月26日には、地域の子どもなど16人が、地区内にある炭窯小屋横の資材置き場からカブトムシの幼虫を探し出し、同校に設置した養殖用のビニールハウスへの引っ越しを実施。移した約500匹の幼虫の中には、10cmを超える“大物”もありました。なお、夏ごろに成虫となる見込みで、地区内外の子どもたちに提供する予定です。

天草戦没者追悼式

戦没者を慰霊し、世界の恒久平和を願う

4月2日、戦争で尊い命をなくされた天草島内の戦没者の霊を慰めるために、上天草市・天草郡荅北町・天草市の2市1町合同による「第6回天草戦没者追悼式」が、天草市民センターでしめやかに行われました。

追悼式には、戦没者の遺族など約500人が参列。戦没者之霊位に献花を行い、亡くなられた人たちのめい福をお祈りするとともに、二度と悲しみの歴史を繰り返すことのないよう、世界の恒久平和を祈念しました。



▲献花を行う参列者

高浜八幡宮春季例大祭

天草

伝統の太鼓踊りが復活

4月3日、高浜八幡宮春季例大祭が開催されました。この例大祭は、同宮の氏子が分担して太鼓踊りや獅子舞などを受け継ぎ実施しているもの。太鼓踊りを担当する中向地区では、3年前から踊りを担う小・中学生がいなくなり、代わりにおとなが踊りを担当していました。しかし、今年は小学生2人が加わり、久しぶりに子どもによる太鼓踊りが復活。沿道には多くの住民が駆けつけ、元気に踊る子どもたちの姿を、うれしそうに見守っていました。



▲勇壮な太鼓踊りを披露

天草広域連合・南消防署が開署

牛深地域に新たな消防拠点完成

牛深地域を管轄とする天草広域連合・南消防署が、久玉町の牛深高校前に新築され、3月16日に開署しました。これは、昭和40年に建設された旧南消防署（牛深町）の老朽化に伴うもので、管轄区域への出動の効率性を考慮して、今回の場所に整備されました。同28日には、関係者など70人が出席して落成式を同所で行った。同連合長の安田市長が「消防力のよりいっそうの充実・強化を図りきめこまやかな消防行政に努めたい」などと話されました。



▲完成した南消防署



▲元気に相撲をとる園児たち

金比羅祭り

御所浦

航行の安全と子どもの成長を願って

4月12日、「金比羅祭り」が御所浦町の嵐口地区で開かれました。この祭りは、同地区に古くから伝わるもので、毎年旧暦の3月10日に行っているもの。この日は晴天に恵まれ、地元の漁師や保育園児など約100人が参加。祭りでは、1年間の航行の安全を祈願した後、子どもの健やかな成長を願って、赤ちゃんの土俵入りなどを実施。また、保育園児による奉納相撲も行われ、子どもたちの元気な取組に、観客から大きな歓声や拍手が送られていました。